

授業科目

神経眼科学

担当教員名 前田 史篤、阿部 春樹、田淵 昭雄 (非)、三木 淳司 (非)、可児 一孝 (非)	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		◎	○	

授業の概要

視覚の入力系や統合系、そして出力系である眼球運動の機能を学び、それらの伝達路の障害部位や程度について理解する。

授業の目的

神経眼科学的疾患の診断、治療につなげるための検査について学ぶ。障害部位を系統的に分析する能力を培う。

学習目標

1. 視路障害に応じた視野障害が理解できる。
2. 視神経の構造と見方が理解できる。
3. 核・核下性、核間、核上性の眼球運動障害が分類できる。
4. 瞳孔の異常が説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス 神経眼科に必要な解剖・生理	講義	前田 史篤
2	視神経の構造と機能 篩状板の解剖、視神経乳頭の見方 (乳頭陥凹、乳頭腫脹、うっ血乳頭、乳頭浮腫)	講義	阿部 春樹
3	視神経の構造と機能 視神経の髄鞘化、網膜神経線維の走行と視野の対応	講義	阿部 春樹
4	眼球内・外および視路の血管系と特徴的異常	講義	阿部 春樹
5	視神経疾患：視神経の先天異常、血管障害、炎症、腫瘍、外傷、脱髄 (※VITs)	講義	田淵 昭雄
6	水平性および垂直性眼球運動の機構 (PPRFとriMLF)	講義	田淵 昭雄
7	核上性眼球運動異常 (MLFやParinaud症候群)	講義	田淵 昭雄
8	核・核下性 (筋原生斜視、機械的斜視含む) 眼球運動異常	講義	田淵 昭雄
9	視路および視機能に関わる頭蓋内疾患：一般的症状、画像診断	講義	三木 淳司
10	衝動性および滑動性眼球運動と前庭動眼反射の定義と経路	講義	三木 淳司
11	視神経疾患：視神経炎、視神経症、うっ血乳頭、Leber遺伝性視神経症	講義	可児 一孝
12	視神経疾患の一般的治療法：原因疾患治療とステロイド	講義	可児 一孝
13	瞳孔の異常	講義	前田 史篤
14	眼振の定義と分類	講義	前田 史篤
15	まとめ	講義	前田 史篤

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	前年までに購入済み
参考書	神経眼科 臨床のために 第3版	江本博文、清澤源弘、藤野貞	医学書院	2011年	9,500円+税	
その他の資料						

評価方法

定期試験 75%

小試験 20%
提出物 5%

履修上の留意点

再試験、追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。
締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み
P310
fumiatsu-maeda@nuhw.ac.jp